

生産拠点の再編支援拡充

SMFL 解体し不要設備売却

三井住友ファイナンス&リース(SMFL)は、国内生産拠点の再編を支援する事業を拡充する。グループのスマート(名古屋市港区)が提供する工場の解体工事と不要設備の売却などをまとめたサービスで、同社が4月をめどに東京に営業拠点を設け、東名阪の3拠点体制にする。事業者がコロナ禍などに伴う構造改革の一環で、不動産の売却や用途を転換する流れを取り込む。

4月東名阪3拠点体制

スマートの拠点再編 設け、関東圏の受け皿
 支援事業は工場の解体 工事や設備の撤去作
 業、不要設備の売却、 再資源化を一括で請け
 負う。中古設備やスク ラップを売却すること
 で、解体費用を削減す るという。名古屋と大 阪に拠点を持つが、東 京に初めての事業所を

一方、旺盛な需要に 者の確保が急務になっ 対応するための有資格 ている。一定の建物の

解体には有資格者の立 ち会いが必要のため、 案件を受注しても人が そろわなければ着工で きないことがある。事 業所網の拡充とともに 人材採用を進める方針 だ。

スマートはSMFL 子会社のSMFLみら いパートナーズ(東京 都千代田区)と、中古 車オークション大手の ユー・エス・エス系の アビッツ(名古屋市港 区)が共同出資で設立 した。

設け、関東圏の受け皿
 同社は、建屋の老朽
 化や工場用地を他の用
 途に活用する機運の強
 まりを背景に規模を拡
 大している。2019
 年の会社設立時に策定
 した23年度の売上高計
 画を、21年度に前倒し
 で達成する見通しだ。